

産地戦略

実施期間 令和5～6年度

実施主体 栃木県
都道府県 栃木県
対象地域 栃木県
対象品目 トルコギキョウ、りんどう



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

● 化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

「低濃度エタノールを使用した土壌還元消毒法」を導入し、土壌伝染性の病害を予防でき、化学農薬の使用量が低減と作業時の安全性が確保される。また、かん水チューブを用いた処理であり、従前の土壌消毒法に比べて省力化が図れる。
令和11年度には、作付面積がりんどうで6.0ha、トルコギキョウで9.0haとなり、内グリーンな栽培体系の取組面積がりんどうで0.5ha、トルコギキョウで2.0haとなる。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	栽培マニュアルに記載のとおり												
技術名													



グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	栽培マニュアルに記載のとおり												
技術名													

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R 6	目標R11	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	13.9ha ▶	15.0ha	トルコギキョウ、りんどうの合計面積
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.88ha ▶	2.5ha	トルコギキョウ、りんどうの合計面積
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	▶		
省力化に資する技術の取組面積（ha）	▶		

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	化学農薬による土壌消毒	▶ 低濃度エタノールを使用した土壌還元消毒	化学農薬の散布回数削減や人、環境に対するリスクを低減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
省力	土壌消毒作業時間	13時間/10a	▶ 10時間/10a	

- * 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
- * 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けて、低濃度エタノールを使用した土壌還元消毒法の普及を進める。対象はトルコギキョウ及びびんどう栽培者とし、実施ほ場での現地検討会、栽培講習会、マニュアルの配布等により当技術の普及を進める。

関係者の役割

関係者名	栃木県内各農業振興事務所（7事務所）	生産者		
役割	マニュアル作成及び技術指導による技術の普及	技術の実証及び導入		

その他